

ご利用方法

- ◆相談までの流れは前のページを御参照下さい。
- ◆相談日: 本院より受診施設へ連絡を行います。
- ◆相談方法: 医師による面談
- ◆相談料金: 30分まで 8,950円(税込)
延長は30分ごとに8,950円加算(税込)



案内図



お問い合わせ

熊本大学医学部附属病院
地域医療連携センター

〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
TEL 096-373-5676

生殖医療・がん連携センターの ご案内



がんの治療として、化学療法(抗がん剤治療)や放射線療法を行うことがあります。これらの治療では、妊娠のしやすさ(受胎能力・妊よう性)が低下したり、不妊になることがあります。

最近では生殖医療の進歩により、妊よう性を温存することが可能になりつつあります。

 Kumamoto University

熊本大学医学部附属病院

Kumamoto University Hospital

生殖医療・がん連携センターのご案内

当センターの役割

小児がん、子宮頸がん、乳がん、精巣がん、白血病に代表される若年がん患者さまに対し、妊よう性温存治療、受精卵温存、卵巢組織凍結に関する**カウンセリング(がん・生殖医療相談)**を行います。

カウンセリング後、適応のある患者さまに本院を含めた、ART実施施設の紹介と胚や配偶子(未受精卵子・精子)、卵巢組織などの凍結保存と長期管理を本院と県下のがん診療拠点施設、ART実施施設と連携しながら行っています。

このような流れでご相談をお受けします

